

Title	センター開発のTSSコマンド一覧
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1984, 53, p. 71-82
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65610
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

センター開発のTSSコマンド一覧

今までにセンターニュース、速報で広報されたセンター開発のコマンドを一覧として掲載いたします。なお、この中には他機関より譲り受けたコマンドも含まれています。

(1) 図形処理関係

コ マ ン ド	パ ラ メ ー タ の 形 式	パ ラ メ ー タ の 意 味	機 能	
\$VIEW			XYプロッターの作図データファイルの内容を解析しグラフィック端末に出力します。	
	問答形式	INPUT= KADAI BANGO/ FILENAME?	課題番号/ファイル名	利用者の課題番号とファイル名。
		KASO WINDO=XMIN, YMIN, XMAX, YMAX?	実画面の大きさ	利用者プログラムの最小値と最大値。 (単位: cm)
		HYOJI WINDO= IXMIN, IYMIN, IXMAX, IYMAX?	グラフィック画面の大きさ	グラフィック管面の最小値と最大値。 (単位: ドット)
		DEMAND FILE	Y	作図ジョブを起動させる。
	WRITE Y OR N	N	\$VIEWを終了させる。	

(2) 言語関係

コ マ ン ド	機 能
\$L1.9	LISP/1.9サブシステムを呼び出す。 詳細については電子技術総合研究所のLISP USER'S MANUALを参照されたい。
\$XXPL	言語処理プログラムの作成に便利な言語XXPLのプログラムをコンパイルし、実行する。 詳細については、センターニュースNo. 38(1980-8)の“プログラミング言語XXPLの紹介”を参照されたい。

(3) センターのお知らせ・システム状況表示等

コ マ ン ド	パ ラ メ ー タ の 形 式	パ ラ メ ー タ の 意 味	機 能	
\$SCHED			システムの処理状況を端末に出力する。	
\$DSNUMB			センターのカード読取装置、リモート端末、TSS端末(CARDINサブシステム)より投入されたジョブの状態を端末に表示する。	
\$OBE	問答形式	FUNCTION ?	J	ジョブの間合せを行う。
		C	ジョブのキャンセルを行う。	
		O	出力待ちジョブの間合せを行う。	
		F	当日分の出力済ジョブの間合せを行う。	
		E	実行中のジョブの間合せを行う。	
		R	リソースの間合せを行う。	
		S	システムの状況間合せを行う。	
		復帰	\$OBEコマンドを終了させる。	
		ENTER SNUMB ? (J, Cを選択した時のみ)	SNUMB番号	ジョブの間合せまたはキャンセルを行うSNUMB番号を指定する。
		復帰	投入したジョブのSNUMB番号が全て表示される。(Jを選択した時のみ)	
\$HANDBOOKJ (\$HANDJ)	問答形式	TITLE NUMBER INPUT?	n	n番目のタイトルの内容を表示する。
			? n	番号に対応するタイトルの簡単な説明を表示する。
			復帰	現在のタイトルレベルを終了させる。
		SUBTITLE NUMBER INPUT ?	n, [n, ……]	n番目のサブタイトルの内容を端末またはページプリンタに出力する。
			? n	番号に対応するサブタイトルの簡単な説明を表示する。(“ページプリンタに出力”と記されたタイトルにのみ有効。)
			復帰	現在のサブタイトルレベルを終了させる
			なし	

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能	
	問答形式	HANDBOOK COMMAND END ? (YES OR NO)	YES	コマンドを終了する。
			NO	最初のタイトルレベルに戻る。
		SEND BY MAIL ? (YES OR NO)	YES	センターのページプリンタに出力を指定した情報が出力され、出力結果は連絡所へ送られる。
			NO	センターのページプリンタに出力を指定した情報が出力され、出力結果は返却棚に返却される。

(注1) タイトルに「ページプリンタに出力」と記されている項に属しているサブタイトルの内容はページプリンタに出力され、それ以外は端末に出力される。

(注2) SUBTITLE NUMBER INPUT? の問合せに対してページプリンタに出力する項の時は、コマ (,) で区切って複数の番号を指定することができるが、指定の個数が多すぎると出力情報が途中で打ち切られることがあるので、1回のHANDBOOKコマンドでは4個以上のサブタイトル番号を指定しないようにして下さい。

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$HANDBOOKK (\$HANDK)	なし		センター利用に関する情報(コマンド説明、手引等)を端末またはページプリンタに出力を行う。 なお、メッセージはカタカナで表示される。
問答形式	TITLE NUMBER INPUT?	n	\$HANDBOOKJ と同一
		? n	
		復帰	
	SUBTITLE NUMBER INPUT?	n, [n, ……]	
		? n	
		復帰	
	HANDBOOK COMMAND END? (YES OR NO)	YES	
		NO	
	SEND BY MAIL ? (YES OR NO)	YES	
		NO	

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能	
\$HANDBOOKA (\$HANDA)	なし		センター利用に関する情報(コマンド説明、手引等)を端末またはページプリンタに出力を行う。 なお、メッセージはローマ字で表示される。	
	問答形式	TITLE NUMBER INPUT?	n	} \$HANDBOOKJ と同一
			?n	
			復帰	
		SUBTITLE NUMBER INPUT?	n, [n, ……]	
			?n	
			復帰	
		HANDBOOK COMMAND END? (YES OR NO)	YES	
			NO	
		SEND BY MAIL ? (YES OR NO)	YES	
			NO	

(4) パーマネントファイルの内容を表示

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能	
\$FLIST	△ファイル名△(W=n, S)	ファイル名：端末に出力するファイル n : 出力する行数。 S : ファイル出力するを休止する時間。(秒単位)	パーマネントファイルの内容を端末に出力する。 FORTRANプログラムの出力されたファイル(番号6, 42)を改行指定に従って端末に出力する。また、W=n, Sのパラメータを指定するとn行ごとにS秒間出力を休止しながらファイルの内容を端末に出力する。	
	問答形式	※ QUIT IS ACCEPT (RES, END, SKP)?	RES 出力一時停止後の再出力を指示する。	
		END	出力一時停止後、\$FLISTコマンドの終了を指示する。	
		SKP	出力一時停止後の出方スキップを指示する。	
	SKIP RECORD INPUT ?	N	出力スキップの数を指示する。指示した数の行数分が飛ばされて出力が継続される。なお、その指示できる数は7桁以内の数。	
\$DMP	△ファイル名	ファイル名：端末に表示したいファイル名 (原編集ファイルに限る)	端末にファイルの内容を出力する。 ①カード出力形式のファイル ②TSS/バッチ処理で作成されたファイル ③JIS・BCD混在ファイル (制御文字はスペースで表示)	
	問答形式	FUNCTION?	PRINT△ALL	全ファイルの内容を端末に出力する。
			PRINT	「BLOCK TO BE READ?」のメッセージが表示される。
			END	DMPを終了させる。又は、キャリッジリターン。
		BLOCK TO BE READ?	n	入力ファイルのブロックシリアル番号を10進数で入力する。ファイルの内容の出力は、ブロックシリアル単位に出力される。
	復帰 キー		FUNCTION? レベルに戻る。	

※ 端末に出力中に BREAK キーを押すことによりこの質問がある。

コ マ ン ド	パ ラ メ ー タ の 形 式	パ ラ メ ー タ の 意 味	機 能	
\$FPRINT (\$FPR1)	△ファイル名〔;ファイル名〕…	ファイル名:出力するファイル名	パーマメントファイルの内容をセンターのラインプリンタに出力する。このコマンドで扱えるファイルはFRC形式原編成ファイル。	
	問答形式	SEND BY MAIL (YES OR NO)?	YES NO	センターのラインプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は連絡所へ送られる。 ファイルの内容はデマンドファイルへ出力される。IDカードを用いてラインプリンタへの出力要求を行う。
		JOB CLASS (E, A, B, C) ?	E A B C	ファイル内容の出力量に応じたジョブクラスを指定する。
\$FPRINTH (\$FPR1H)	\$FPRINTと同一	\$FPRINTと同一	パーマメントファイルの内容を圧縮してセンターのラインプリンタに出力する。なお、ラインプリンタイメージファイルは圧縮されません。	
\$FPRINTR (\$FPR1R)	\$FPRINTと同一	\$FPRINTと同一	パーマメントファイルの内容を端末(リモート端末も含む)へ出力する。	
	問答形式	TERMINAL LID INPUT?	出力先の端末ID(2字)を指定する。	
\$FPRINTHR (\$FPR1HR)	\$FPRINTと同一	\$FPRINTと同一	パーマメントファイルの内容を圧縮して端末へ出力する。なお、ラインプリンタイメージファイルは圧縮されません。	
	TERMINAL LID INPUT?	\$FPRINTRと同一		
	JOB CLASS (E, A, B, C) ?			

コ マ ン ド	パ ラ メ ー タ の 形 式	パ ラ メ ー タ の 意 味	機 能	
\$FPRINTJ (\$FPRIJ)	\$FPRINTと同一	\$FPRINTと同一	パーマメントファイルの内容をセンターのページプリンタ(漢字の出力可)に出力する。 このコマンドで扱えるファイルはFRC形式順編成ファイル。	
	問答形式	FORMSET?	復帰	「NORMAL」の書式がセットされる。漢字を出力しない場合は「NORMAL」を指定する。
		書式名:センターに登録されている書式名		書式に従ってファイルの内容がページプリンタに出力される。
		?		システムに登録されている。書式の一覧が端末に表示される。
	SEND BY MAIL (YES OR NO)?	YES		センターのページプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は連絡所へ送られる。
		NO		センターのページプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は返却欄に返却される。
	JOB CLASS (E, A, B, C) ?	\$FPRINTと同一		

(5) FORTRANのソースプログラムを見やすくするためのコマンド

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$FORM			NFORM形式のカレントファイル(*SRC)をFORM形式に再編する。 NEWP/OLDPコマンドで作成したカレントファイルでないこと。入力レコード長は、行番号の直後を第1カラムとすれば、80カラムまで処理される。 1プログラム単位中の文番号の個数は最大400。
\$FORM	n	n:段下りの単位を指定する。	FORM形式のカレントファイルを再編集する。入力レコード長は、行番号の直後を第1カラムとすれば、72カラムまで処理される。その他は、同上。 「TSSの手引」昭和57年6月発行の145頁~148頁を参照して下さい。 ※プログラムによっては、コメント行が入る場合がある。
\$FRESE ※	$\Delta(m, n, m_1, n_1)$	m:文番号(FORMAT以外)の初期値。省略値は10。 n:文番号(FORMAT文以外)の増分。省略値は10。 m ₁ :FORMAT文の文番号の初期値。省略値は1000。 n ₁ :FORMAT文の文番号の増分。省略値は100。	カレントファイル(*SRC)内のFORTRANプログラム(文法誤りのないもの)の文番号を指定された初期値と増分に基き昇順化された文番号に置き換える。 詳しい説明は、「TSSの手引」昭和57年6月発行の149頁~150頁を参照して下さい。

※ \$FRESEでは、多重文の解析はできない。また、扱えるファイルは、NFORM形式か、LNO有りて、ソースプログラムのステップ数が5000以内、行き先番号の延べ数2000以内であること。\$FRESEコマンド実行後、\$FORMコマンドを実行すると、“NO END STATEMENT FOUND”が表示される場合があるが、実行には支障はない。

(6) TSSとの会話の状況を記録するコマンド

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$HIST	なし		このコマンド入力以降のシステムと会話している状況を記録する状態にする。
\$HIST	OFF		「\$HIST」を入力以降の会話の記録を指定されたファイルに出力する。 なお、指定されたファイルがパーマネントファイルとして用意されていない時はテンポラリーファイル扱いとしてファイルがつくられる。テンポラリーファイルは、REMOVEコマンドまたは、BYEコマンドを入力すると会話の記録が消去されますので、保存する必要がある場合は、PERMコマンドでパーマネントファイルにコピーして下さい。
	問答形式	$\left[\begin{array}{c} \text{ファイル名} \\ * \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} \text{INC} \\ ; \\ \text{EXC} \end{array} \right]$ ファイル名:パーマネントファイルまたは、テンポラリーファイル * :カレントファイル INC:会話の記録がすべて出力される。 また「INC」「EXC」を省略した時は「INC」を指定したものとみなされる。 EXC:システムからの出力内容のみをファイルに出力する。	

(7) 計算機の利用状況・利用明細書の出力を行うコマンド

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$KAKIN	80	\$KAKIN 80	計算機利用状況表・利用明細書を80桁、132桁で出力する。 省略時は80桁になります。
	132	\$KAKIN 132	
問答形式	MEISAI START ENTER KB (CR) OR BATCH?	復帰	出力を端末に向けることを指示する。
		BATCH	出力をBATCH処理で行うことを指定する。
	OUTPUT MEISAI (Y OR N=CR)?	Y	利用明細書の出力を行う。
		N または 復帰	利用明細書の出力を行わない。
	MEISAI KB. OUT ...mm GATSU Y OR N (CR)?	Y	利用明細書の月 (mm) を出力することを指定する。上記の質問でNのとき、この質問はされない。
		N または 復帰	利用明細書の月 (mm) を出力しないことを指定する。
	INPUT IDENT (DEMAND=CR, MAIL, RMT, id) ?	DEMAND または 復帰	BATCH処理の出力結果を、デマンドファイルに出力することを指定する。
		MAIL	BATCH処理の出力結果を、センター出力することを指定する。
		RMT, id	BATCH処理の出力結果を、センターに登録されているリモート端局 (id) に出力することを指定する。
	INPUT CLASS (E=CR, A, B, C)?	E または 復帰	BATCH処理で行うジョブクラスを指定する。E, A, B, Cと各々1つを指定する。詳しい説明はセンターニュース Vol. 12, No. 2 1982-8 第46号4頁~14頁を参照して下さい
		A	
		B	
		C	

(8) 二つのファイルを比較するコマンド

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能	
\$FCMP	問答形式	△ファイル名1 ; ファイル名2	ファイル名1 } 比較するファイル名 ファイル名2 }	ファイル名1とファイル名2を比較して ファイルの違いを表示する。
		PARAMETER (D O R S AND N O R W) ?	SN	二つのファイルを比較して、違っている 行のみ幅の狭い出力装置 (1行80桁) 向けに編集して出力する。
			SW	二つのファイルを比較して、違っている 行のみ幅の広い出力装置 (1行132桁) 向けに編集出力する。
			DN	二つのファイルを比較して、全ての行を 幅の狭い出力装置向けに編集出力する。
			DW	二つのファイルを比較して、全ての行を 幅の広い出力装置向けに編集出力する。
		LINE NUMBER (ASIS OR STRIP) ?	ASIS	各行 (レコード) の先頭から80文字が 比較される。
STRIP	各行の先頭の数字 (行番号) を除く80 文字が比較される。			
\$FCMPLP	問答形式	△ファイル名1 ; ファイル名2	ファイル名1 } 比較するファイル名 ファイル名2 }	ファイル名1とファイル名2を比較して ファイルの違いをセンターのプリンター へ出力する。
		PARAMETER (D O R S AND N O R W) ?	SN	} \$FCMPと同一
			SW	
			DN	
			DW	
		LINE NUMBER (ASIS OR STRIP) ?	ASIS	} \$FCMPと同一
STRIP				

コ マ ン ド	パ ラ メ ー タ の 形 式	パ ラ メ ー タ の 意 味	機 能
\$FCMPLP 問答形式	SEND BY MAIL (YES OR NO) ?	NO	ファイル比較した内容をデマンドファイルへ出力する。なお、センターのプリンターへ出力させる時はIDカードを使ってプリンターに出力する。
		YES	
	JOB CLASS (E, A, B, C) ?	E A B C	出力量に応じたジョブクラスを指定する
\$FCMPR	△ファイル名1;ファイル名2	ファイル名1 } 比較するファイル名 ファイル名2	ファイル名1とファイル名2を比較して各行の違いをリモート端局へ出力する。
	PARAMETER (D OR S AND N OR W) ?	SN	} \$FCMPコマンドと同一
		SW	
		DN	
		DW	
	LINE NUMBER (ASIS OR STRIP) ?	ASIS	} \$FCMPコマンドと同一
STRIP			
TERMINAL LID INPUT ?	i d	ファイル比較した内容は指定された「i d」のリモート端局へ出力する。	
JOB CLASS (E, A, B, C) ?	E A B C	} \$FCMPLPコマンドと同一 ※ \$FCMP, \$FCMPLP, \$FCMPRコマンドの詳細説明は センターニュースVol. 12, No. 3、1982-11第47号 19頁〜24頁までを参照して下さい	

(9) センター利用に関する質問、及び要望・意見を送付するコマンド

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$MAILS	なし		センター利用に関する質問、及び要望・意見をセンターへ送付する。
	問答形式	BUILD/FILE ?	復帰 または BUILD 指定したファイルの内容がセンターに送付される。

(10) 8080用クロスアセンブラ

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$CA8080	[{ソース・ファイル} , {マクロ・ファイル} , {ソース・リスト} , {オブジェクト・プログラム}]	ソース・ファイル: マイクロコンピュータのアセンブラー・プログラムの入っているファイル、*または省略時はカレントファイル。 マクロ・ファイル: マクロ・プログラムの入っているファイル。Nまたは省略時は使用しない。 ソース・リスト : アセンブルリストの出力ファイル。Nを指定すると出力しない。省略時は端末。 オブジェクト・プログラム: 機械語の出力ファイル。Tを指定すると端末の紙テープに出力される。Nは省略時は出力しない。	8080系の78種類の命令使用して記述されたソースプログラムを入力してアセンブルし、機械語コードに交換してオブジェクトプログラムを作成する。 詳しくは、センターニュースNo. 35 (1979-11)の“マイクロコンピュータ8080用クロスアセンブラーについて”を参照されたい。